

# サンケイスポーツ杯争奪戦



6/21 (月) 22 (火) 23 (水)

川崎スポーツ

## レース展望

6月21日からの川崎競輪はサンケイスポーツ杯争奪戦のF1戦。この開催はナイターではなく日中に行われるシリーズで、ガールズケイリンも含めた12レース制。

地元南関東地区の中心には小原太樹(神奈川95期)。まだまだ自身で自力含みの競走も可能だが、予選から染谷幸喜(千葉111期)や望月一成(静岡111期)らが勝ち上がってくれば有利に運べそうだ。成田健児(神奈川75期)もまだまだキメ脚健在でホーム戦での活躍に期待できる。北日本はやや手薄な印象だが、差し脚好調な渡部幸訓(福島89期)に魅力がある。

直線伸びるこのバンクなら目標不在でも連対可能だ。関東地区の主軸は柿澤大貴(長野97期)。4月の当地G3でも2勝を挙げており、自力で動いていた頃からバンクの相性も良かった印象。関東の機動型は少なく、今シリーズはまくりが飛び出す可能性も十分だ。中近ラインは戦力が充実している。復調しつつある山田諒(岐阜113期)に、小森貴大(福井111期)。更には今期2班ながら石塚輪太郎(和歌山105期)も揃う。トップレーサー脇本雄太(福井94期)の弟、脇本勇希(福井115期)も着実に力を付けている。他にも自在な畑段嵐士(京都

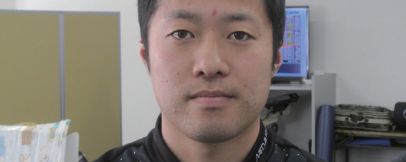
105期)や、マーク堅実な北野武史(石川78期)と、圧倒的な戦力を誇る。

A級戦は出澤拓也(神奈川111期)の地元Vに期待がかかる。矢口大樹(千葉95期)や長田龍拳(静岡117期)らの強力機動型を援護しつつ、勝ち切れるかどうかが見所。

ガールズケイリンはナショナルチームで更なる進化を遂げている梅川風子(東京112期)を筆頭に、流れに応じた柔軟な走りが魅力の久米詩(静岡116期)、売り出し中の新鋭増田夕華(岐阜118期)がシリーズの中心となる。

地元ホーム小原が勝負強さで発揮

S級  
主力選手



小原太樹 神奈川 95期

地元ホームバンクの小原太樹が気迫の走りで優勝を狙う。近況は目立った活躍こそ無いものの、徐々に状態が向上している印象がある。持ち味は鋭いキメ脚だが、目標が無ければ迷わずにラインの先頭で自力のコメントを出す。まだまだ動ける追い込み選手。昨年デビューの青野将大(神奈川117期)や今年デビューする新村穰(神奈川119期)を弟子にとるなど、32歳となり円熟味も増してきた。脚力もあるしセンスにも長けているが、小原は勝負強さに魅力がある。G1の決勝にも乗っているし、唯一制覇している記念がこの川崎。地元戦に強い印象がある。南関東地区の中心としての期待があるし、今年初Vをここで決めたい。

S級  
主力選手



山田 諒 岐阜 113期

学生時代には1kmタイムトライアルで記録を伸ばし結果を出しており、将来有望な若手選手の一人。輝かしい実績を残して競輪界入りをした山田諒は約1年でS級まで駆け上がり、今年からはS級1班の格付け。先行基本の積極的な走りが魅力の中部期待の機動型。2月高知で落車したが、復帰してようやく状態も向上しつつあるようだ。4月の岐阜F1、5月の松山F1は「上手く走ろうとしたらバックが取れなくて、その後は勢い良く走ったら3日間バックが取れた」と話していた通り、ようやく持ち味の強地脚を生かした走りが戻ってきたようだ。現在は22歳でまだまだ伸びしろも十分にある。今後の活躍に注目したい。

S級  
主力選手



望月一成 静岡 111期

ケレン味の無い積極的な走りでステップアップしてきた望月一成は2月別府F1でS級初優勝を決めた。師匠の黒田直記(引退)の教えでもあるラインを大切に走りを守り続けてきた内容ある優勝。もともとダッシュ力が高い選手だが、カマシやまくりに頼らずに先行勝負で挑み続けてきて航続距離も着実に伸びている。とはいえまだまだムラはある。6月の弥彦で大乱調に終わった一戦があったが、そこから次開催の平塚までに練習方法に変化を加えるなどの工夫で大活躍。勝ち上がりで抜群の動きを見せていた。修正能力も上がってきているし、S級での存在感、信頼感はアップしている。まだまだ伸びしろ十分な若手だ。



A級  
注目選手

石井洋輝 福島 115期

学生時代から中長距離を中心に活躍してきた本格派の若手。在校8位の成績でデビュー後は先行基本の走りで活躍。チャレンジ戦の卒業までは約1年とやや時間がかかった印象だが、走りの内容にもこだわってきた結果で、昇班して翌期にはS昇級の点数を確保して、今年7月からは初のS級に挑戦することが決まっている。今期も順調に結果を出せば1年間S級を走ることになる。前回川崎を走った際には予選6着で2日目以降は欠場。今期唯一の予選敗退だった。来期以降に弾みをつける意味でも、この川崎で結果を出したいところ。強力な地脚生かした豪快な走りに注目だ。



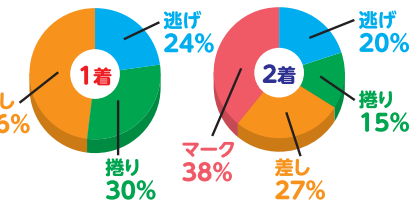
ガールズ  
注目選手

梅川風子 東京 112期

学生時代からスピードスケートで活躍してきた梅川風子は、24歳でスケート競技を引退してガールズケイリンの世界に飛び込んだ。着実に力を付けて、昨年はファン投票で選出されるアルテミス賞を走り優勝。3年連続で出場した昨年末の平塚グランプリでは準優勝といまやトップ選手として君臨する。そんな梅川は昨年ナショナルチームに入り更なる進化を遂げている。以前川崎のイメージを聞いた際には「走りにくさとかは無いんだけど、成績はあまり…」と話していたが、厳しいナショナルチームの練習で進化を続けている梅川なら三連勝でのVに期待できる。

### 川崎競輪場バンクガイド

1センターの客席が取り壊され2角からバックへかけて風が吹き込むようになった為、バック追い風の傾向が強くなった。直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースを外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中 毎日 OA!

YouTube

ニコニコ放送 NICO NICO LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル